

身高 Dream Project

産業社会と人間 ～職業人インタビュー始まる～

前の号で触れたドリームプロジェクトは夏季休業中にも行われます。

1年次生は「夢の発見」のため、夏季休業中に「職業人インタビュー」に出かけます。事前にアポをとり、事前学習で質問等も検討し、プロの方にインタビューをし、自分自身が興味を持っている職業に対する理解をさらに深めます。

2年次生は、見つけた夢に近づくためオープンキャンパスやインターンシップに参加します。実際にキャンパスを歩き、授業を見学し、教授や在校生と交流し自分の進学先を肌で感じます。インターンシップでは、介護・保育などの現場での仕事を体験し仕事への理解を深め経験を積みまます。

3年次生は、就職希望者は就職公務員ガイダンスや講座を受講し、心構え・模擬面接を経験し、応募前職場見学に参加したりします。進学希望者は進学課外を受講して個々の実力の伸長を図り、休業中にも模擬試験を受験して全国単位での自分の位置を確認します。その結果をみて、次回への改善点を見つけます。

上記以外にも、登校学習会・夏季進学課外などを通じてスキルアップをしています。このように多岐にわたる夏の間の学習を経て秋以降のドリームプロジェクトにつながっていきます。



甲府市富竹にあるデザイン会社「サンアベニュー」でのインタビューを行うデザイン系志望の生徒たち

職業人インタビュー先の例

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 甲府警察署 | NTTドコモ株式会社 |
| 株式会社ホリプロ(芸能・マネジメント) | 市川中学校 |
| 国立病院機構甲府病院(助産師) | 東武レジャー企画株式会社 |
| スポーツデポ甲府昭和インター店 | SBクリエイティブ株式会社(小説家) |
| アニメイト富士宮店 | ナチュラルグレース(料理人) |
| ベルクラシック甲府 | Enduno社(家具職人) |

中高連携

～サマーセミナー&防災サマーキャンプ～

本校では、「生徒一人一人の進路実現を目指して」をキャッチフレーズに、中学校と高等学校の6年間を通して、確かな学力と豊かな人間性を育み、地域と協働してキャリア教育を進めることで、「次代を担う人材」の育成を目指しています。

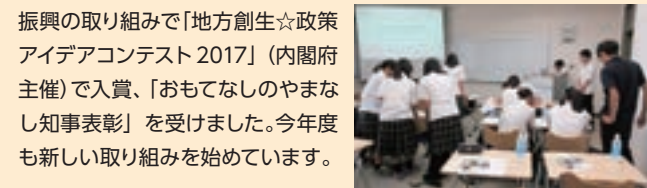
この夏も高校受験対策学習会の「サマーセミナー」や南海トラフ巨大災害を想定した防災学習を行う「防災サマーキャンプ」など、様々な活動を通じて身延高校・身延中学校・南部中学校の三校で、「学力の向上」「豊かな人間性の育成」「地域との協働」の3つの教育目標を柱として連携を図りながら、地域への理解を深め、社会形成に主体的に貢献できる力の育成を目指しています。



高大連携

本校では、大学と連携した質の高い学びで、将来自分の住む地域に貢献できる人材の育成を行っています。平成28年度には山梨県立大学と連携協定も結びました。

山梨県立大学と連携した授業では、地域に関する学びを深め、平成27年度から本格的な活動を始め、平成29年度はQRコードを活用した地域



振興の取り組みで「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」(内閣府主催)で入賞、「おもてなしのやまなし知事表彰」を受けました。今年度も新しい取り組みを始めています。

My Kodai Renkei's Life!

山形 詩苑

今現在、高大連携講座の活動チームであるSKY2018は、「身延町の仕事図鑑」を作っています。この図鑑は身延高校生徒が卒業してから、将来身延町で働くにあたっての参考になるものにしたと思います。

図鑑作成にあたり、私と1年生のグループは、まず身延高校のすぐ近くにお勤めの薬剤師さんを取り上げることにしました。そして、高校生なりにまとめた記事を山梨県立大学で大学の先生方に発表してきました。その発表を通じて、多くの改善点が見つかりました。例えばリーフレットを作る目的が見る人にとってあまいなこと、内容に具体性が足りず、読む人を惹きつけることが不十分なことなどです。中学生や高校生が見て「おもしろい!」「こんな職業があるんだ～」と考えるようなリーフレットにしていきたいと思っています。これから取材や紙面づくりに忙しくなるとは思いますが、誰が見ても興味を抱くようなリーフレットにしていきたいです!!

高校生議会へ参加

渡辺 類

私は、高大連携授業を受ける中で、職業を通じて、県内の定住人口の増加・安定化について調査しています。そのため、山梨県ではどのような政策を考えているかに関心を持ち、今回の議会に参加しました。結果、この議会に参加してとてもよかったと思いました。私は「若者の県内定着に向けた対策について」質問しました。私以外にも同じような質問をする高校生が多くいましたが、別の視点から考えていて勉強になりました。この視点は今後の授業にも活かすことができると思いました。高校3年間で一度しか体験できないような貴重な体験ができ本当に良かったです。



SHINKO 身高VIEW

Vol. 6
2018. September
MINOBU HIGH SCHOOL

学園祭・夏の諸活動号



外に飛び出せ!! 身高生
～夏の暑さにも負けず、学校の内外で活躍した
身高生たちを追う～

第69回 身高祭 開催!!

1日目

オープニング



オープニング

- ★1年次 合唱
 - ★2年次 創作ダンス
 - ★3年次 創作劇
- @身延町総合文化会館

1年次合唱



2年次創作ダンス



3年次創作劇



演劇部



2日目

身高コレクション・クラス企画・模擬店・オープンタイムス等

家庭クラブ



吹奏楽部



美術部



3日目

体育部門



最高の思い出

生徒会長 近藤佑生



今年度の学園祭は、私たちが最高学年ということもあり、とても気合いが入っていました。しかし、生徒会の人数も昨年より少なくなり、運営がとても大変だったため、例年のようにはいかない所もありました。自分のクラスの準備もあり、やりくりしていくのは大変でしたが、多くの方々の協力もあり、この学園祭を大成功といってもよい形で終わらせることができたのはとても嬉しく、達成感がありました。成功させるために頑張ってくれた在校生の皆さんや協力していただいた先生方にはとても感謝しています。

この学校で、今の身高中生のみならず学園祭ができたことを誇りに思っています。この「身高祭」は私にとって最高の思い出となりました。



Aブロック長 丸山和

ブロック長として意識したこと

私は、今回の学園祭でブロック長をやらせていただきました。ブロック長をやるにあたって私にはとにかく楽しくやりたいという想いが強くありました。高校生活で初めて大きな集団の上に立ち、どうやって集団を引っ張ればいいのか分かりませんでした。クラスメイトのみんなが助けてくれたことが強く印象に残っています。結果は色々ありましたが、とても楽しくできたので大成功だったと思います。



Bブロック長 青嶋雄斗

平成最後の学園祭

私は今年度の学園祭、そして平成最後の学園祭ということで大成功で終わるように活動してきました。

A・C組のブロック長と夜遅くまで話しあい、どのようにしたら盛り上がるのかたくさん意見を交換しました。オープニングについての話や、体育祭の宣誓など話しあうことはたくさんありましたが、本番では大笑笑と大歓声の渦が巻き起こりました。平成最後の学園祭で、ブロック長をさせてもらうことができたのは一生の思い出です!



Cブロック長 木内一翔

最後の学園祭を終えて

高校最後の身高祭、僕はC組のブロック長を務めました。今年のCブロックはクラス企画と模擬店のタイアップや体育部門を通じて例年と比べ、より一層学年間の団結を深めることができたと思います。部活動や勉強などで忙しい時期でもあり、その中での取り組みは大変でしたが、その分やり遂げた後の達成感はとても大きかったです。この身高祭を成功させることができたのも、生徒会や学園祭実行委員の皆さん、先生方の支えのおかげだと強く感じます。また、ブロック長を任せてくれたCブロックの皆さん、本当にありがとうございました。来年もさらに盛り上げて、最高の身高祭を創ってください。

最後の夏...

野球部 水谷竜太郎 感謝

私たちは、甲子園出場を目標に今回の夏の大会に臨みましたが、3回戦で敗れとても悔しいです。しかしチームとしても個人としても今までしてきたプレーが出せたと思うので良かったです。甲府東高校戦で勝ったことも、帝京第三戦を最後までやりきれたことも、地域の方々やOBの方々、先生

や生徒の皆さんのおかげだと思い、感謝しています。

私は3年間の野球部での活動を経て様々な事を学び、成長できた実感しています。もちろん野球の知識を得たり、技術がアップしたりはありますが、それ以上に人間としての成長を感じます。県外から親元を離れ寮生活で自分の身の周りの世話をし、自立心を養い、野球の練習を通じて先を見越して物事を考える力や時間の使い方が上手くなりました。また、副主将として気配り心配りができるようになり、集団をまとめる力もつきました。繰り返になりますが、これらは自分一人の力で身に付けたわけではなく、顧問の先生やチームメイト、両親の支援など多くの人びとののおかげです。とても感謝しています。



野球応援 小森しもん 一つとなる熱意

今年は初めての応援団としての野球応援参加でした。そのためちゃんと動きを把握できていない不安だったり、違う視点から応援できる喜びであったり混ざって、直前まで何か妙な高揚感に包まれていました。その高揚感をしっかりスタンドに持って行き、野球部に伝える熱意に変えられた様に思います。自分だけではなく、周りの人も同じでした。あの空間では先輩後輩の境がなくなり、

皆同じ方向を見て声を張り上げます。その時の一体化して野球部を応援している身延高校がたまに格好良いのです。野球部の人に少しでも多く応援していた人たちの気持ちが届いたなら、とても幸いです。



演劇部 五島一嘉 学園祭公演を終えて



今回の作品、インディアンサマーは、1年生の初舞台、そして3年生の引退公演の2つの性格を持った舞台でした。制作期間中、3年生は「最後の舞台なんだ」という意気込みで活動し、2年生はこれから自分たちが引き継ぐ仕事をしっかり見ておく、という気持ち、1年生は右も左も分からないことを言い訳とせず、何でも吸収して、私たち3年生についてこようと必死になってくれました。結果、概ね満足できる形で公演も無事終わり、先輩たちの成長を感じるとともに、自分たちの時代が終わることに対する寂しさも感じました。

しかし、私はこれから演劇部として活動することになっています。というのも私の夢は俳優で、その夢を実現するために演劇学科のある大学に進学するつもりです。この3年間演劇部で学んだ技術や知識は確実に私の力になっています。腕が鈍らないように最後まで演劇部にお世話になるとともに、私の持っている力で部のお手伝いをし、少しでも部に恩返しできればと思っています。

インターハイ 出場者に聞く

リベンジ

陸上競技部 深沢萌絵



ずっと憧れの舞台で、2年生の時は逃してしまっていたインターハイ。今年は昨年よりも練習に力を入れ、各大会でも結果を出してきました。優勝目指して挑んだ関東大会では2位という結果で終わってしまい、その悔しさをバネにインターハイに臨みました。しかし、インターハイでは雰囲気にも飲まれてしまい、思うようなパフォーマンスができませんでした。ですが、このような大きな舞台でレベルの高い選手と戦えたことは、自分にとって成長できるよい経験となりました。高校での陸上を通じて、多く人と出会い、刺激を受け、陸上を頑張ってきたことで人間的にも大きく成長できたと感じています。

ソフトボールを通じて、得たもの

ソフトボール部 秋山壘



インターハイに出場して、結果とても楽しい大会となりました。最後のインターハイということもあり、緊張もすごかったです。3回戦、ベスト16まで進むことができました。目標とした結果にはとどきませんでしたが、良い仲間たちとここまでソフトボールができたことに良かったと思います。ソフトボールをやっている一番良かったことは、この良い仲間たちと出逢えたことです。みんなできつい練習を乗り越えて、試合中などもミスしても、励まし合ったり、時には厳しい声もかけあったり、なんでも言い合える仲間たちでした。卒業まで、この仲間たちとともに様々な事を頑張っていきたいです。